

④

寄宿舎の取り組み

研究テーマ

「地域とともに  
児童生徒の深い学びを支える授業づくり」



寄宿舎テーマ

「地域を知り 地域で暮らすための  
生活づくり」

目的：舎生の主体的な活動を通して、仲間や地域とのつながりを意識しながら活動できる手立てを考える。

仮説：舎生自身が自分たちでできることは何か、そのためにはどのような協力が必要かなどを考えて活動していく中で、**主体的に考える力・協働する力**を深め、自身の力としていくことができるのではないか。

# (1) 研究計画

## ○1年次

- ・ 舎生一人ひとりの実態把握をする
- ・ 舎生と一緒に活動を構築する

## ○2年次

- ・ 1年次の研究を深めていく
- ・ 舎生と一緒に活動を計画・実行する

寄宿舎 2年グループ

## (2) 舎生の実態

- 男子4名 女子1名 計5名
- 積極的に係の仕事へ取り組む姿はあまりないが、任された役割は責任を持って取り組むことができる。
- 時間にルーズ。
- スマホなどICT機器の操作に長けている。

## (3) 実践1

各学年、学部ごとのグループに分かれての活動を中心に行う。今年度は、2年計画の1年次なので、次につながるよう**高2年G**の取り組みにスポットを当てた

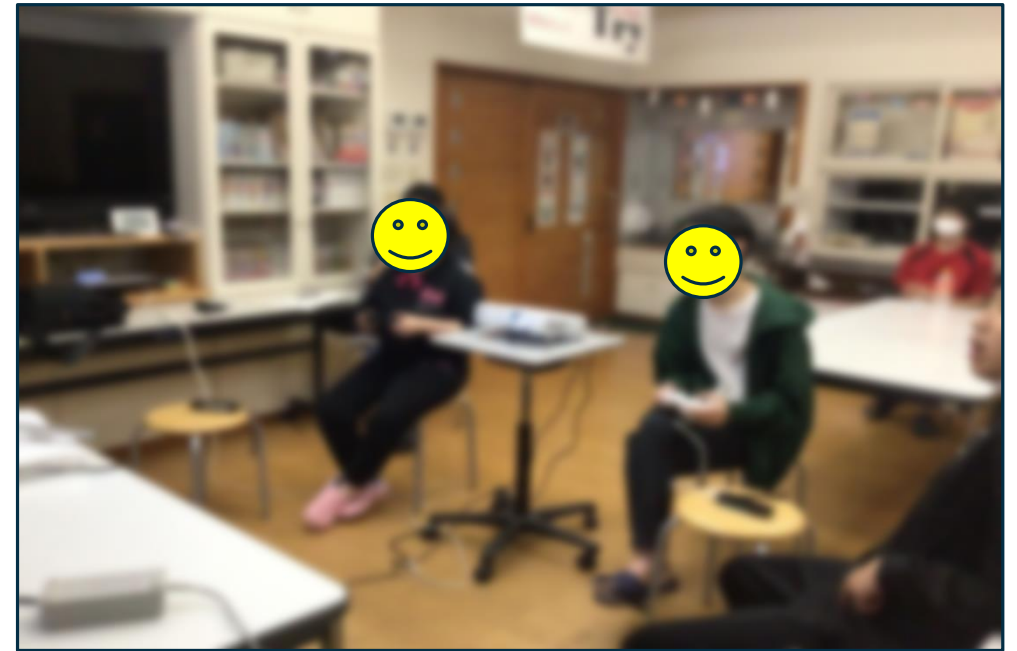
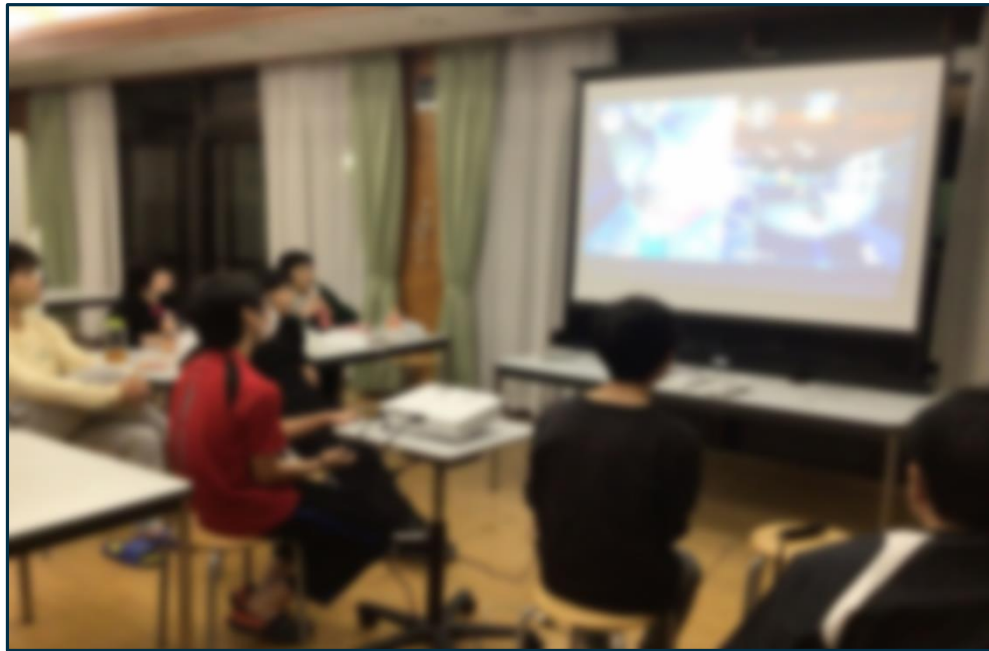
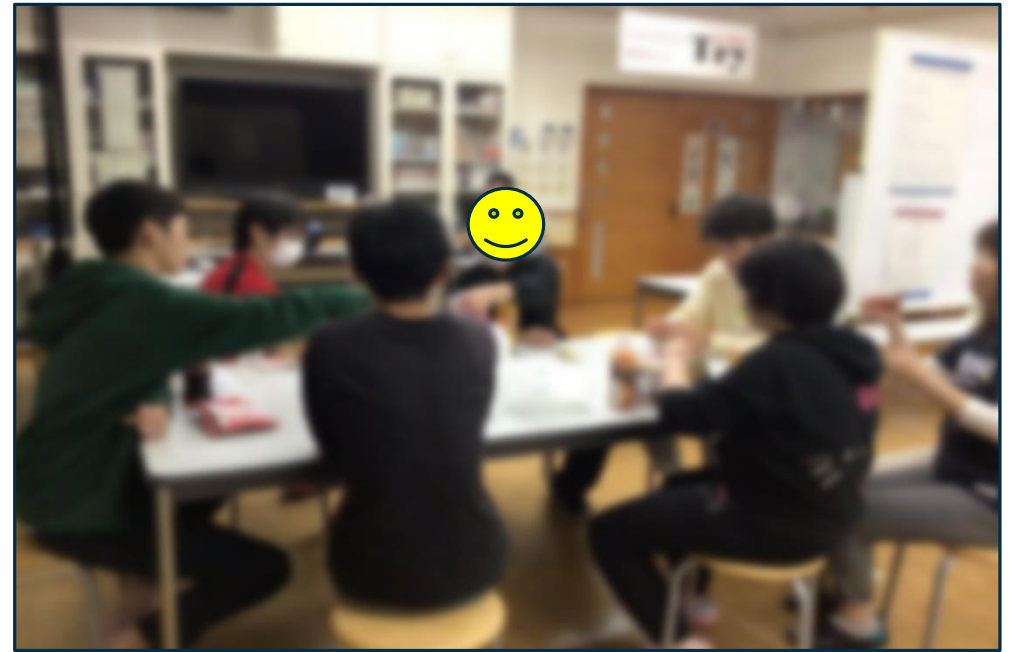
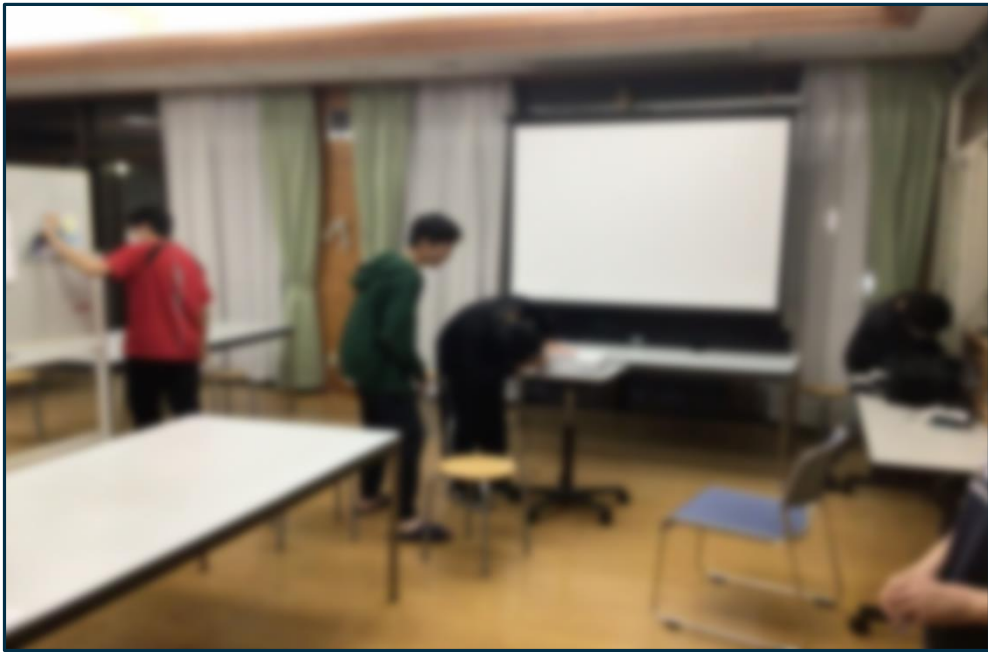
### 【2年生会をしよう！】

現場実習の打ち上げを兼ねてお疲れさま会を実施。内容、事前や当日の係分担を自分たちで決める。

# ゲーム大会 & 茶話会

- 当日までに計 5 回の話し合い活動を実施。
- 話し合いの内容を個人用タブレットのメモ機能に記録し話し合いの内容を忘れないような工夫をする。
- メンバーの大半が舎生会役員をしていたので、役員ではないメンバーに話し合いの司会をお願いし、舎生会活動をの区別をした。
- 話し合い活動が苦手なメンバーには事前に内容を伝え、考えなどをまとめる時間を作った。





## (4) 成果と課題

### 【成果】

- ・話し合いの記録にタブレットを用いることで時間に遅れなかったり、自分の係を忘れることなく参加することができた。
- ・役員以外の舎生に司会をお願いしたことで、舎生会活動とは別の活動だと区別することができた。

### 【課題】

- ・個々の目標設定がなく指導員も誰のどこに焦点を当てればいいのか不透明だった。

## (5) 実践2

### 【3学期の2年生会を計画しよう】

- ・ 前回の反省を生かし、5人それぞれに目標を設定した。
- ・ 話し合い活動では、回数を重ねることで少しずつではあるが話し合った内容を覚えており、それを踏まえた発言が増えてきた。

## (6) まとめ

「地域を知り、地域で暮らすための  
生活づくり」  
取り組みを行うにあたり・・・

地域で暮らしていくために  
舎生にとって何が必要か



『地域』の前に・・・

『寄宿舍』という場所での生活づくり

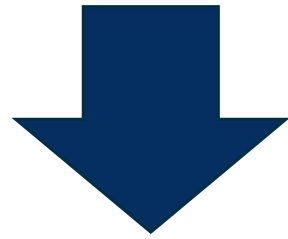
仲間づくり

寄宿舎の仲間とのつながり



学年Gでの活動

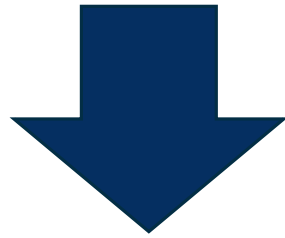
学年Gの活動



参加するメンバーの固定化

集まり  
やすい

意見が言い  
やすい



横のつながりを意識できた

メリット



意見を出し合う

主体的に  
考える力

どのように進めていくか話し合う

係分担を決める

協働する力

他の人へ協力を依頼する

舎生の変化が感じられてきた



自分たちで寄宿舍での生活を  
豊かにしていこうという意識付け

# 他のGの活動の様子

それぞれの活動の様子を掲示



自分たちもやりたい気持ちは  
芽生えてきたが  
自分たちの活動へ反映させるのは  
まだ難しい

次への  
課題

# 次年度へ向けて

寄宿舎  
仲間づくり  
取り組み



地域の  
ヒト・モノ・コト  
関わりながら取り組み